



# 次世代 HERO

Next Generation's Hero

ほり ゆうせい  
**堀 悠生** さん

**M1アマチュア大会35kg級  
チャンピオン**

—戦歴26戦24勝2分(11KO)—

「勝つ」のではなく「倒す！」  
夢は世界チャンピオン！



▲アマチュア7冠王に輝く堀さん。  
愛称は「チー坊」

**数** 々のアマチュアキックボクシングの大会でチャンピオンに輝く、一の宮小学校6年生の堀悠生さんをご紹介します。

堀さんがキックボクシングを始めたのは、5歳の頃。先に始めた兄・凌生さんの自主トレについて行き、山や階段を走っているうちに、気付けば腹筋が割れたムキムキの園児に。負けず嫌いな性格で、自分より大きな相手にも果敢に立ち向かっていきます。

「冷静」で戦う兄とは真逆で、「感情」で戦うファイトスタイル。試合前、集中力を高め自身を興奮状態に追い込むと、自然と涙がこぼれるのだとか。

7月3日、堀さんが獲得したのは、那須川天心選手もジュニア時代に獲得した「M1-ジュニア」。所属する誠友塾の松田栄治塾長は「正義感が強く、困っている子がいるとすぐ助けに行く。みんなの希望になるような大きい選手になってほしい」と想いを語ります。



## 下関産の 食材を使った おいしい給食



市長コラム

## 希望の風

市長の部屋

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。今回は、子どもたちの「食」の安心についてのお話です。先日、市内小中学校で「下関産を集めた給食の日」を開催しました。文字通り、その日の給食の原材料のすべてを下関産（鶏肉だけ県内産）で賄った、初めての取り組みです。

「子どもたちの安心安全のために地産地消をもっと取り入れてほしい」という、市民の声を形にしたいと思ったことから始まったのですが、この日を迎えるまでは本当に大変な作業の連続でした。教育委員会の職員をはじめ、農家の方やJAの皆さまの子どもたちを想う熱烈なパワーによって、実現することができたのです。

メニューはチキンカレーライスとヤーコン麺のサラダ、ミニトマト、牛乳です。1万8000食の給食を準備する作業は、並大抵ではありません。ジャガイモだけでなんと1050kgも必要でした。この日のために、何か月も前から農家の方が準備してくださって実現できましたが、これが毎日となると、さまざまな課題が見えてきます。

この日をきっかけに、市内で頑張る農家の皆さまにも、今後の農業経営への何かのヒントになればと思いますし、なにより「下関の子どもたちを下関の食材で安心して育てる」という、愛情あふれる新たな好循環が生まれていくことを期待して、引き続きチャレンジしていきます。